

平成19年 工学部卒業生アンケート結果のまとめ

鹿児島大学工学部 JABEE 委員会

平成19年12月

鹿児島大学工学部では、社会の要求や学生の要望を取り入れ自らの教育システムの継続的改善を行っております。今年度は、社会の第一線で長年にわたって活躍されている卒業生の皆様に、本学部の教育システムに対するご意見を頂くためにアンケートを実施しました。50歳代の卒業生を対象に回答を依頼しましたが、設立の新しい学科では20歳代～40歳代の卒業生を選ばせて頂きました。アンケート文書は平成19年9月28日に発送致しました。ご多忙にもかかわらず多数の卒業生の方々にご回答頂き感謝しております。結果の取りまとめを行いましたので報告させていただきます。

この結果を参考にして、今後とも工学部では教育内容の改善と充実を図り、国際的に通用する有意な人材を社会に送り出すことを目標として、教育改革に取り組んでいく所存です。なお、アンケート中の自由記述欄の回答はこの報告には含めていませんが、そのご意見は学部長をはじめ学部教員に伝え、教育改善に活用させていただきます。

工学部全体の卒業生アンケート結果

アンケートの回答総数は253名であった。アンケートの実施期間が短かったこと、工学部全体と出身学科の2つに回答を求める手間のかかる内容であったことを考慮すると、回答総数は十分であると考えられる。回答内容は自由意見を含めて大変貴重なものであり、工学部の今後の教育改善に活かすべき有益な資料であると言える。

以下、個々のアンケート結果について示す。

1. 工学部の学習・教育目標について

回答総数は240名であった。図-1に結果を示す。「ほぼ適当」が46%で最も多く、「十分である」と74%から肯定的な回答を得た。工学部の学習・教育目標の設定はおおむね適切であると判定されているが、自由記述欄の中には「目標が高すぎて実現できるとは思えない」「目標が学生と共有できていないと意味がない」との意見もあった。

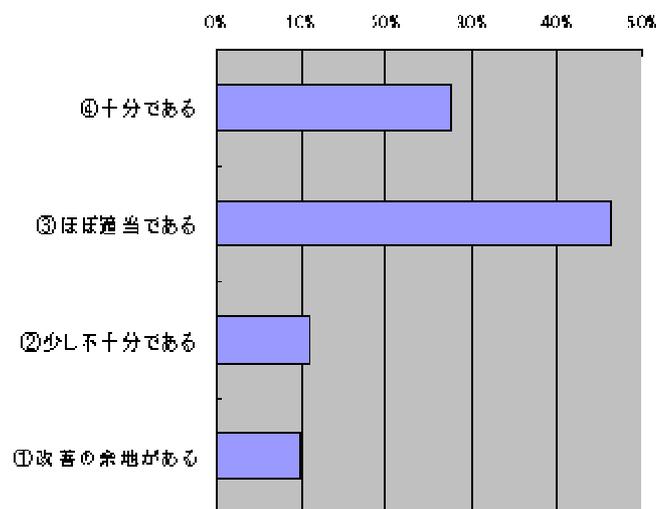


図-1 工学部の学習・教育目標は社会の要請に対して適切に設定されていると思われますか？

2. 本学部卒業生の長所について

回答総数は235名であった。昨年、卒業後5年～10年の卒業生を対象にしたアンケートでも同様の調査を行ったが、「英語力」「起業意識」の評価が低いことが今回の調査結果でも見られた。一方、前回良かった「仕事への献身精神」「コミュニケーション能力」は、今回も評価が高かった。今回新たに、「粘り強さ」「素直さ」「協調性」を評価項目に加えたが、これらの項目に対する評価が最も高かった。

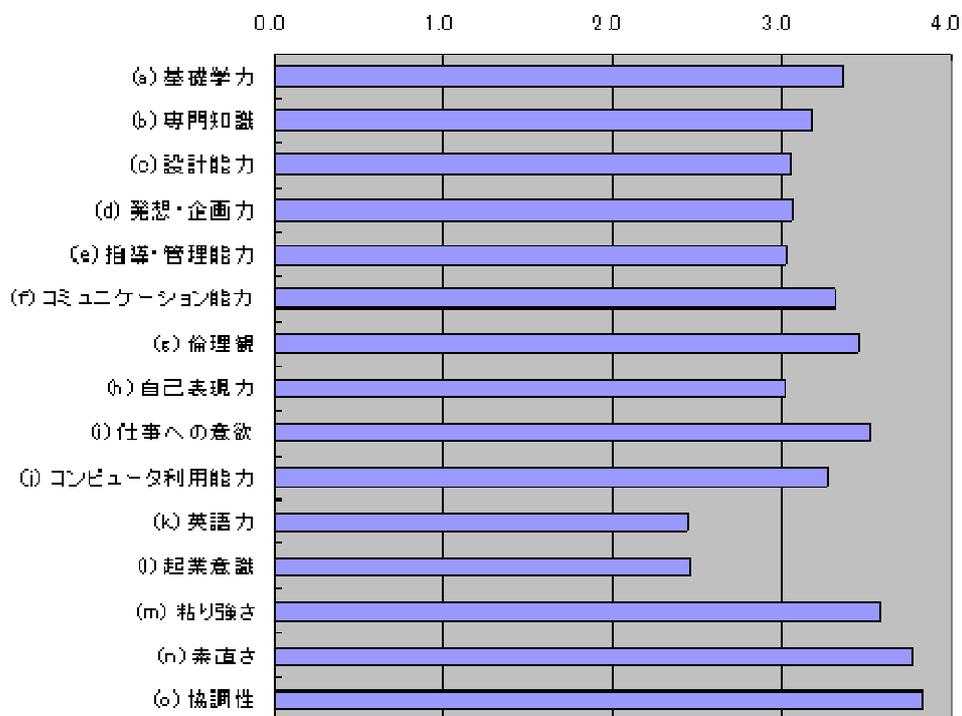


図-2 (a)～(o)の項目について本学部卒業生を5段階で評価して下さい

(5. 優れている, 4. やや優れている, 3. 普通, 2. やや劣っている, 1. 劣っている)

3. JABEE に対する認知度

回答総数は242名であった。JABEEを知っていた卒業生は37%弱であり、回答者が大学教育に関心の高い層であることを考えると、予想したより低い数値である。JABEE本部や関係学会ならびに本工学部の広報活動が十分行きわたっていないことを示している。

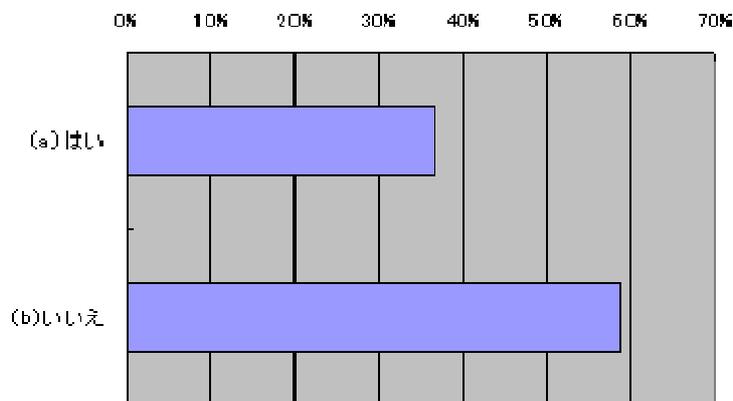


図-3 JABEE (日本技術者教育認定機構)は御存知ですか

次の設問は、新入社員採用時にJABEEプログラム修了者であることを評価するか、を問うものである。図-4に示すようにあまり考慮しないという結果になった。なお、この設問は前問でJABEEを「知っている」と答えた卒業生に対するものであったが、実際には「知らない」と答えた人も回答しており、回答総数は127名であった。

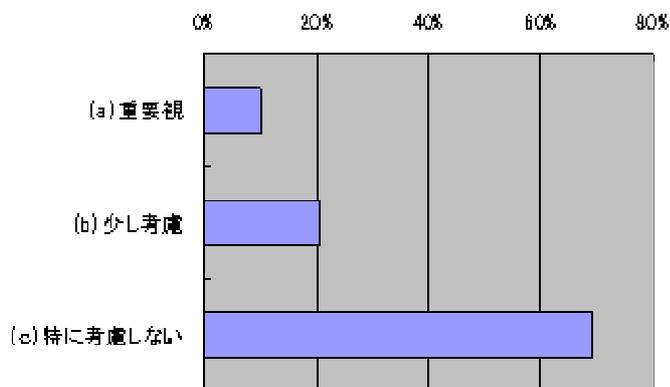


図-4 御社の新入社員採用時に、JABEEプログラム修了者に対する評価をしていますか

次の設問は、技術士、PE、FEなどの資格を昇給・昇進に際して評価するかというものであり(図-5)、これについては資格を考慮・重要視するという結果となった。回答総数は138名であった。

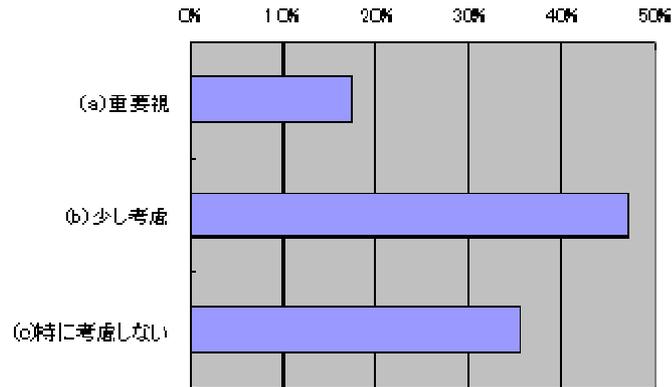


図-5 御社の昇給・昇進に際して技術士、PE、FEなどの資格に対する評価をしていますか

4. 今後の教育で重視すべきもの

最近の社会の動きを踏まえ、工学部ではどのような教育に注力すべきか、今後の教育で重視すべきと考えられる項目を3つ以内で挙げよという設問である。回答総数は251名であった。(b)の「狭い専門分野にとらわれず広い視野で考える能力」、(h)の「問題発見・解決能力」に対して約60%が重視すべきと答えている。

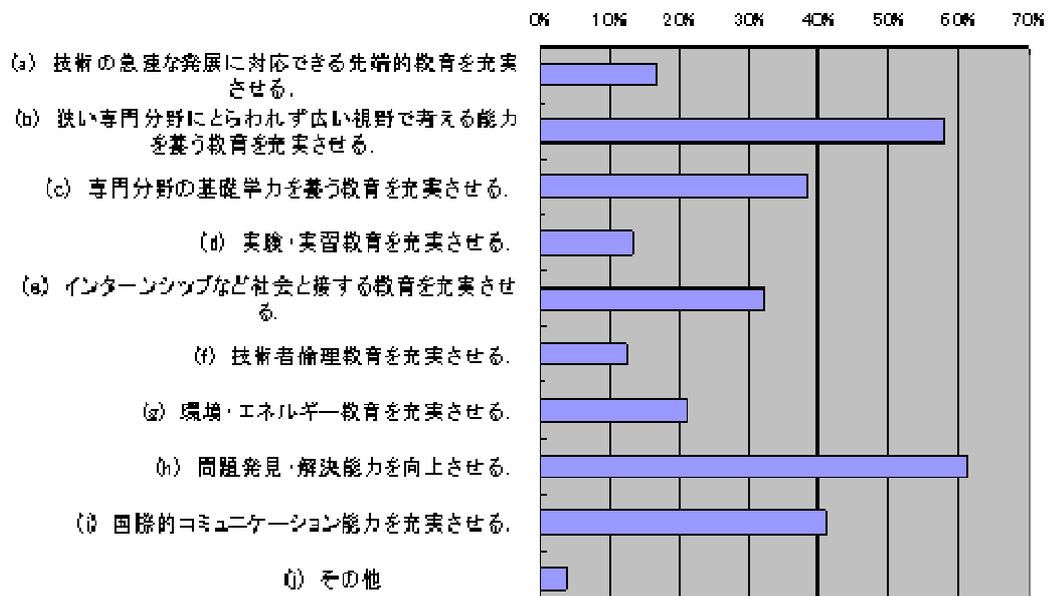


図-6 最近の社会の動きを踏まえ、工学部ではどのような教育に注力すべきか。次の項目の中から3つ以内でお答え下さい

5. 工学部離れ対策

回答総数は 242 名であった。図-7 に示すように、(c)「ものづくりの面白さを知らせる」、(e)「工学技術者の社会への貢献を知らせる」が約 60%と多かった。理科離れ・工学部離れは、卒業から永年経過している卒業生も危機感を強く抱いているためか、多くの自由意見が寄せられた。工学技術が現在のわが国の国際的地位を築いていることをさらに広報していかなければならない。

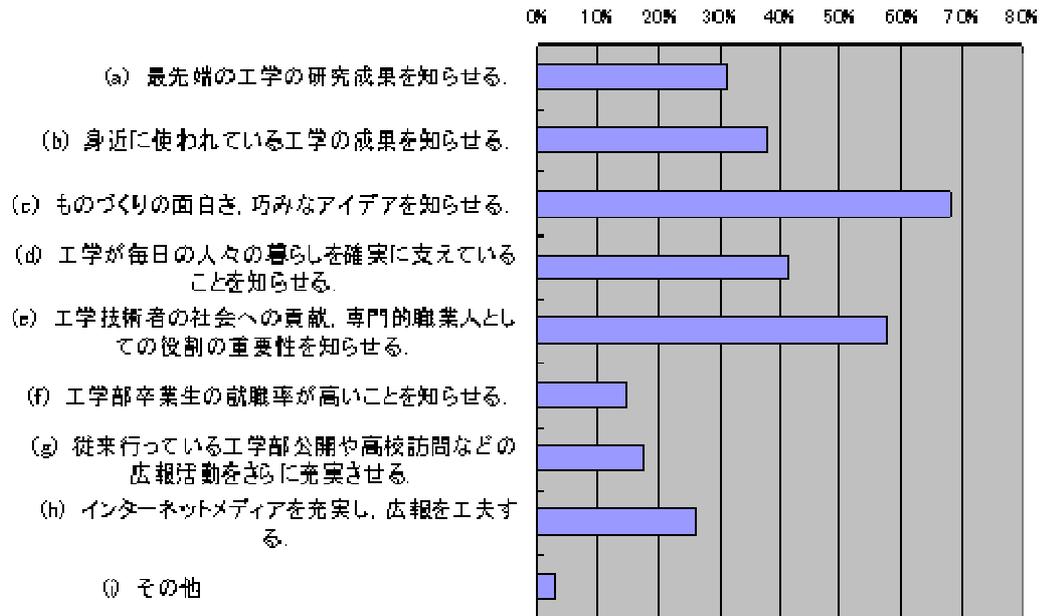


図-7 最近、「理系離れ」が懸念されております。工学部の魅力を高めるためにどのような広報活動をすべきか、次の項目の中から3つ以内でお答え下さい。